

第 8 期第 1 回（令和 7 年度第 1 回）多治見市子どもの権利委員会 議 事 要 旨

I. 開催日時：令和 7 年 7 月 1 日（火） 10 時 00 分 ～ 11 時 20 分

II. 場所：多治見市産業文化センター 3 階小会議室 1

III. 出席者（敬称略）

＜出席委員＞ 加納誠司、加藤明子、水野知久、寺島和希、松原敦也、下野誠司、市原浩代

＜欠席委員＞ なし

＜事務局＞ 環境文化部長：水野直喜 くらし人権課長：勝見祐子

くらし人権課：今井光春、玉野いづみ

IV. 内容

はじめに

- ・環境文化部長あいさつ
- ・委員、事務局自己紹介
- ・会長・副会長の選任

【議題】

1. 第 8 期子どもの権利委員会スケジュールについて（確認）【資料 1】
2. 第 3 次子どもの権利に関する推進計画後期計画令和 6 年度事業実施状況について【資料 2】
3. 今後の「子どもの権利に関する推進計画」の位置づけと子どもの権利委員会の役割について【資料 3】
4. その他

【資料】

◎資料 1：第 8 期子どもの権利委員会スケジュール

◎資料 2：第 3 次子どもの権利に関する推進計画後期計画 令和 6 年度事業実施状況
評価まとめ

◎資料 3：今後の「子どもの権利に関する推進計画」の位置づけと子どもの権利委員会
の役割について

◎その他：令和 7 年度人権同和教育講演会について（案内）

○ 環境文化部長あいさつ

多治見市におきましては、平成 16 年から子どもの権利に関する計画を進めており、今年度から第 4 次計画が始まった。子どもたちの視点に立って、子どもたちが住みやすいまちづくりを目指し、事業を実施していく予定だ。本日は、昨年度までの第 3 次計画の事業評価や、委員会のあり方などについて説明するので、活発なご意見を交換いただければ幸いだ。よろしく願いいたしたい。

○ 会議及び議事録の公開、会議の録音について（事務局説明）

○ 委員・事務局の自己紹介

事務局 第8期の委員会は、この7名でスタートする。4月から、基本目標に「子どものウェルビーイング」を掲げた第4次子どもの権利に関する推進計画が始まった。今後の委員会は、この推進計画に掲げた推進施策の進捗状況と課題の確認が主な役割となる。

また、国のこども基本法に基づく動きに倣う形で、多治見市では2つある子どもに関する計画のうち、この「子どもの権利に関する推進計画」を、もう一つの「たじみこども未来プラン」に次期計画から溶かし込む方向で調整をしている。このことについても、後ほど説明し、意見を求めたい。

○ 会長・副会長の選任

会 長：加納誠司委員（愛知教育大学教授）

副会長：加藤明子委員（人権擁護委員）

—（承認）—

会長あいさつ

皆様のご承認を受けて会長に就任した。委員会では、それぞれの立場や経験を活かして本音で議論し、子どもたちのウェルビーイングを推進していければと思っている。自分の役目は、皆さんの知見や経験を引き出し、議論を進めることだと考えているので忌憚なきご意見をいただきたい。

【議題】

1. 第8期子どもの権利委員会スケジュールについて

事務局 （説明…資料1）

会 長 本年度も昨年度に引き続き、子ども関係施設への視察を行い、実際に現場で子どもの姿を見て議論する予定になっている。事務局の説明について、何か質問、意見はあるか。

—（質問無し）—

2. 第3次子どもの権利に関する推進計画後期計画令和6年度事業実施状況について

事務局 （説明…資料2）

会 長 それでは、第3次子どもの権利に関する推進計画後期計画令和6年度事業実施状況について、委員のみなさまに議論、検証をお願いしたい。

委 員 ビジネスプランコンテストの令和4年度から5年度の応募件数(総計)はプラス11件と大幅に増えているが、令和5年度から6年度はプラス1件である。この微増でT1評価となる基準について教えていただきたい。

事務局 応募件数の総計ではなく、応募のあった高校の数が6校から11校に増えたため、T1で評価した。

事務局 事業番号 31「たじみ子ども会議」について、中高生の子どもスタッフが集まりにくいという課題がある。子どもたちのボランティア活動への参加を促すために、どのような広報が効果的か、ご意見をいただきたい。

委員 子どもたちの主体性や自主性を大切にしたいが、日々の授業では教師が一方的に進めることが多い。子どもたちの意見を聞き、実現する取り組みは素晴らしいが、それが子どもの参加につながるのはなかなか難しい。校長会などを通じて学校現場での宣伝がまず有効な手法だと思う。

委員 子どものやる気があっても、保護者の協力がないと参加できないケースもある。保護者への働きかけも重要かと思う。自分も土曜学習の手伝いをしているが、希望者が多く、保護者も協力的である。保護者がどんなことをやっているのかに興味を持てば、子どもの参加も前向きになるのではないか。

委員 ボランティアをしてもらう側としては、活動内容が具体的で、負担感が少なく、子どもたちが「やってみたい」と思えるものであることが大切だと感じる。

委員 コロナ禍を経て、人とのつながりが希薄になり、募集しても集まりにくい現状がある。校長会や PTA の会合などで地道にお願いすることで、長い目で見て活動の魅力をしっかり伝えることが必要だと思う。

会長 今の若い世代は、SNS や動画など、動きのある情報に惹かれる傾向がある。活動の様子を動画で紹介する、スタッフの実際の声を流すなど、発信方法を工夫するのも良いかもしれない。
他にご質問等あるか。

委員 計画通りに事業が実施されたことが T2 の評価理由として挙げられている。各項目を評価する際、その視点が必要だと思うが、子どもの権利の観点から見ると、「子どもの自己肯定感の向上」などの目標に対して、子どもの姿での評価が大切なのではと思った。

事務局 個票には子どもの権利の視点での事業評価を記入する欄がある。T1、T2、T3 のような評価方法では数値でしか見ることができないが、個票を読み解くことで、その事業がどんなものだったかを想像していただけるとありがたい。

会長 この表を見たときに、多治見市にはたくさんの事業と関係課があることを再確認できた。概ねいい評価だが、どの事業にも次の目標があることが大きなポイントだと感じた。

3. 今後の「子どもの権利に関する推進計画」の位置づけと子どもの権利委員会の役割について

事務局（説明…資料3）

会長 今後は子どもの権利委員会と子育て支援会議で連携を深めることになる。子育て支援会議で子どもの権利視点の意見を出すことで、より子どもたちのウェルビーイングにつながっていくのではないかと思います。この方針について、皆様よろしいか。

そして代表委員についてだが、副会長の加藤委員にお願いしたいと思うがいかがか。

—（異議なし）—

委員 承知した。この委員会で出た意見を私が代表して伝えるという形で、子育て支援会議で発言する。

会長 委員会の意見は、子ども関連施設の視察を通じて現状や課題を把握し、議論して事業関係課等に伝えていくことになる。視察先について、学校や施設など広く皆さんの意見を伺いたい。

追加された資料は名古屋の自由進度学習を実践している学校についてである。矢田小学校と山吹小学校では、子どもが自分で学びたい内容やゴールを決めて学習に取り組んでいる。両校は広く視察を受け入れており、訪れやすいと思う。自由進度学習は愛知県や岐阜県にも広がっており、多治見市でもその学習方法を生かせると思う。また、岐阜市では幼少連携推進事業が進行中で、保育や教育の現場をお互いに視察し、年間10回ほど意見交換を行っている。皆さんの興味や関心はどうか。

委員 自分は小学校の立場で研究発表会など小中学校を訪れているが、いい意味でも悪い意味でもこれまでの流れを踏襲した内容が多いと感じている。その中で、先進的な取り組みをしている学校を見る機会は少ないので、矢田小学校や山吹小学校のような学校を見てみたいと思う。

会長 矢田小学校は課題を明確に設定している一方、山吹小学校はリラックスした状態での学びを進めている。どちらも衝撃的ではあるが、見学したことによって授業に活かす先生もいる。こうした研究が進むことによって、不登校が減少するようだ。これは子どもたちが自分で学ぶ内容を決めたがることや、上位下位の話が減ることが理由だと思われる。ただ、自由に学ばせるのは難しく、先生方も工夫している。

候補の1つとして、この2校はいかがか。

—（異議なし）—

事務局 では第一候補として設定する。加えて、今回委員の中で障がいを持つ子どもたちと関わっている方もいるので、そういった学校への視察も検討したいが、支障はないか。

委員 調整は必要だが、この委員の人数であれば受け入れ可能だと思う。

事務局 複数候補を挙げたうえで、調整を事務局でさせていただく。またメール等でのような流れで進めていくかご連絡差し上げる。

—（一同了承）—

4. その他

①【案内】多治見市子どもの権利セミナー

日時：令和7年7月30日（水） 13時30分～15時30分

場所：多治見市バロー文化ホール小ホール

基調講演：「不登校の子が一步を踏み出すとき」

講師：石井 しこう 氏 （不登校ジャーナリスト）

②【案内】令和7年度人権同和教育講演会

日時：令和7年8月18日（月） 14時00分～15時30分

場所：とうしん学びの丘エール

基調講演：部落問題を通して考える日常の中の差別

講師：上川 多実 氏 （BURAKU HERITAGE）

③【依頼】みんな違っておもしろい ぼくの絵わたしの絵 絵画コンクール 2025

審査日：令和7年9月8日（月）～9月11日（木）

④その他

配布物（令和7年度人権同和教育講演会チラシ）

会 長 いろいろなご意見をいただきありがとうございました。

（閉会）